平成28年度
学校経営の重点
本気で学校力向上！ 学びの花を咲かせよう
～子ども力・教師力・地域力で学校力UP！～
帯広市立帯広小学校
学校だより
平成28年8月31日
No 13

帯小の窓

ブラッシング教室

1年生～4年生を対象にブラッシング教室を行いました。

講師は，本校の学校歯科医の大和田三朗先生です。

「なぜ虫歯になるのか，虫歯にならないためにはどうしたらよいのか」など，わかりやすく教えていただきました。健康な歯を守るためにも正しいブラッシングが大切です。

フッ化物洗口を実施している帯広小学校の子どもたちです。虫歯ゼロを目指して毎日正しい歯磨きをしましょう。

帯広市民劇場出前講座

気分はダンサー

のぞみ学級の子どもたちがバレエに挑戦！講師の本江憲子バレエスタジオの先生方からご指導いただきました。

衣装・髪飾り・トウシューズなどの紹介や，バレエの基本的な動きを学んだあと，バレエ音楽に合わせてみんなで楽しく踊りました。

子どもたちの豊かな心と感性を育む機会となりました。

帯小美術館～夏～

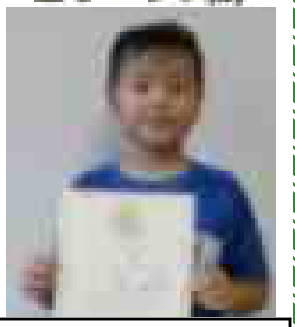
夏休みの自由研究や，絵や工作などを全校児童がお互いの作品を鑑賞しあう取組である夏休み作品展を開催しました。２階3階の作品展示会場には子どもたちの力作がずらりと展示されました。

素敵なBGMが流れ，帯広小学校が美術館に変身したような雰囲気で，保護者・地域の方々にも鑑賞会を楽しんでいただきました。

すべての作品に，先生方からの励ましのコメントを書いています。

とくに素晴らしい作品には「アイディア賞・ISO賞」や「校長賞・教頭賞」が授与されました。

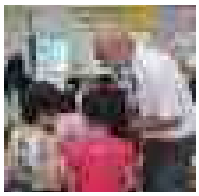
帯小の子紹介



2016年ﾋﾟﾃｨﾅ･ﾋﾟｱﾉｺﾝﾍﾟﾃｨｼｮﾝ　北日本2地区本選
ｿﾛ部門Ｂ級 入選
人見　泰平

教師力UP！

道徳研修会 Ⅱ



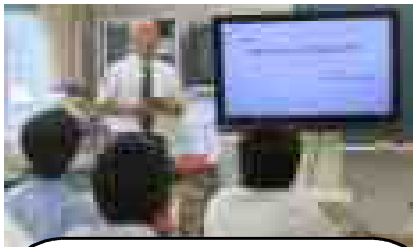
8月２６日，鳥取市立世紀小学校の木原一彰先生を講師にお迎えし，道徳研修会を行いました。

本校では，昨年度から研究主題 「自己を見つめ，互いを認め合いかかわりあう子どもの育成 ~ 互いのよさや違いを認め合う人間関係つくり ~ 」と設定し，道徳教育を中心に研究を進めています。

道徳教育を通じて育成される道徳性は，子どもたちの「生きる力」を根本で支えるものであり，全教育活動を通して「道徳的実践力・道徳性」の育成を目指していきたいと考えています。そのためには私たち教師は，日々の授業改善を通して授業力を磨いていかなければなりません。

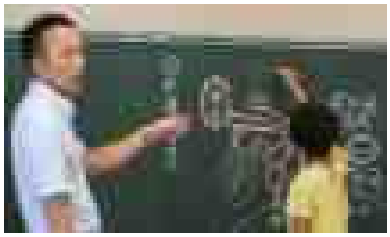
また，平成30年度から「特別の教科道徳」として実施されます。本校においても，２年先を見据え，教育課程の見直しや，指導内容の重点化，指導方法の工夫など，計画的・組織的に準備しているところです。

今回の道徳研修会では，道徳教育の実践においては第一人者である木原先生の模擬授業を見せていただいたり，問題解決的な道徳の授業のあり方などについて演習を交えて講演をいただいたりして，本校の道徳教育や研究推進の後押しとなりました。



道徳の教科化に向け，問題解決的な道徳の授業作り，発問や板書構成のヒントなど，木原先生の実践に学びました。

2年2組担任の中川教諭が，隣の学級で。4年生担任の永井教諭が5年生の学級で道徳のプレ研を行い，木原先生に参観いただいた後，授業づくりについてアドバイスをもらいました。



十勝毎日新聞
平成28年8月28日掲載

道徳教科化向け 模擬授業で研修

帯広小学校

帯広小学校（久米雅子校長、児童数160人）で26日、道徳教育の教科化に向けた研修の一環として、3年生を対象とした模擬授業が行われ、同校の教諭たちが見学して知識を深めた。

授業を担当したのは、鳥取県鳥取市立世紀小学校教諭で、日本道徳教育学会会員の木原一彰さん。教材として第16代アメリカ大統領エイブラハム・リンカーン（エイブ）の伝記「6セント半のおつり」を読み、木原さんは「正直」とは何か、なぜ「正直」を行いをするのかなどを問題提起し、25人の児童たちは模擬的に意見を述べ、多様な観点から「正直に生きる」ことについて共に考えた。

定発言（じょうはつげん）者は「はじめはエイブの正直な行動にそこまでしなくてもと思ったが、先生やみんなと話しているうちに、正直なことはいいなあと感じるようになった」と話していた。

（長尾拓郎通信員）

木原教諭（右）と児童が一緒に「正直に生きる」ことについて考えた帯広小の模擬授業